

様式第5号（教育実習実施計画に関する書類）

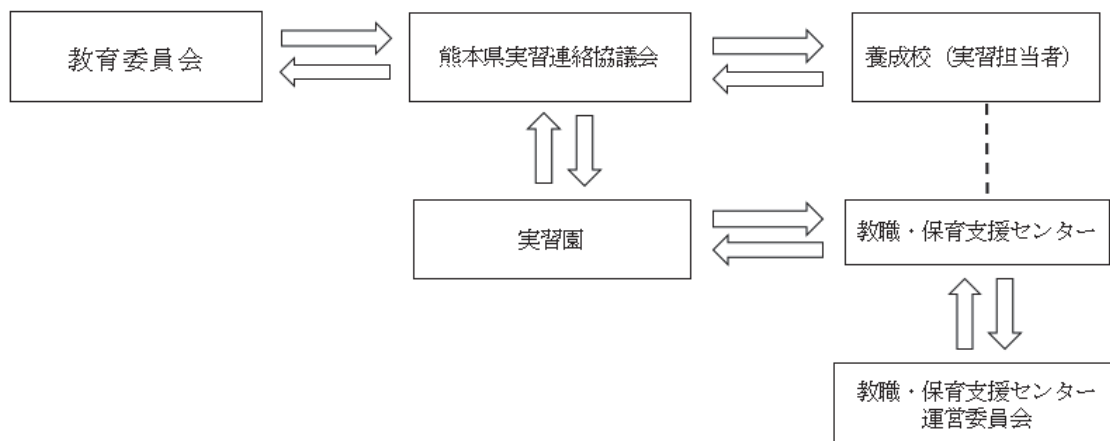
教 育 実 習 実 施 計 画	
1	教育実習の内容及び成績評価等
①	教育実習の時期 ・ 幼稚園教育実習Ⅱ：3年次後期（9月～10月）、4年次前期（6月） ・ 小学校教育実習Ⅱ：3年次後期（9月～10月） ・ 特別支援学校教育実習Ⅱ：4年次前期（5月～6月）
②	教育実習等の実習期間・総時間数 ・ (幼稚園) 4週間：160時間 ・ (小学校) 3週間：120時間 ・ (特別支援学校) 2週間：80時間
③	教育実習校の確保の方法 ・ (幼稚園) 大学が指定する園の中から、実習生が希望する実習園を選び内諾を得る。 ・ (小学校) 熊本市教育委員会に一括依頼して、熊本市内の公立小学校で本学からの実習生を受け入れることを受諾された小学校で行う。 ・ (特別支援学校) 熊本県特別支援学校長会に依頼し、熊本県内の特別支援学校で本学からの実習生を受け入れることを受諾された特別支援学校で行う。
④	教育実習内容 (ア) 教育への参加：実習校(園)の指導教諭の下、実習校(園)の「指導計画（年間計画）」の中で、観察実習・参与実習を経て、参加実習を行う。さらに、研究保育や園内外の研修会等への参加を通して、教員(保育者)としての資質・能力を磨く。 (イ) 児童等の援助：実習校(園)の指導教諭の下、実習校(園)の「指導計画（年間計画）」の中で、児童等の生活指導、特別な教育的支援、保護者との関わり、関係機関との連携などについて学ぶ。 (ウ) 環境の構成：実習校(園)の指導教諭の下、児童等一人一人に適切な環境を与え、その心身の発達を促進・助長していくような教材及びICT環境を含めた学習環境を整える。 (エ) 勤務態度：実習校(園)の指導教諭の下、教員(保育者)としての勤務時間の厳守、組織の一員としての協調性、行事への積極的参加等の姿勢を学修する。 (オ) 実習記録：実習校(園)の指導教諭の下、実習記録を用いて、その日一日の児童等の活動を記録し、指導計画作成につなげる。
⑤	教育実習生に対する指導の方法 実習期間中、実習担当教員が実習校(園)を1回以上訪問し、巡回指導を行う。
⑥	教育実習の成績評価（評価の基準及び方法） ・ (幼稚園) 実習評価表における「実習に対する基本姿勢・態度、子ども理解と援助、幼稚園の役割・職務内容の理解」の3項目について、実習園からの4段階による評価および所見に基づき、実習担当教員が、巡回指導の状況を加味して評価する。なお、必要に応じて教職・保育支援センター運営委員会が評価の調整を行う。 ・ (小学校) 各実習校からの勤務状況、学習指導、生徒指導、学級経営、実習報告の5項目について5段階による評価及び所見に基づき、実習担当教員が、巡回指導の状況を加味して評価する。なお、必要に応じて教職・保育支援センター運営委員会が評価の調整を行う。 ・ (特別支援学校) 各実習校からの勤務状況、学習指導、生徒指導、学級経営、実習報告の5項目について5段階による評価及び所見に基づき、実習担当教員が、巡回指導の状況を加味して評価する。なお、必要に応じて教職・保育支援センター運営委員会が評価の調整を行う。

2 事前及び事後の指導の内容等
① 時期及び時間数 ・ 幼稚園教育実習Ⅰ（事前・事後指導）：3年次後期10時間、4年次前期5時間（合計15時間） ・ 小学校教育実習Ⅰ（事前・事後指導）：3年次前期10時間、後期5時間（合計15時間） ・ 特別支援教育実習Ⅰ（事前・事後指導）：3年次後期10時間、4年次前期5時間（合計15時間） ② 内容（具体的な指導項目） ア 事前指導 1. オリエンテーション、授業等 ・ 実習に必要な心がけ、マナー及び児童等や保護者への対応について基礎的な学修をする。実習中の服装、挨拶の仕方等、一般常識を身に付ける。 ・ 児童等の生活実態に即して、学校（園）生活や発達段階等についての総合的な知識を深め、教育現場で対応できる技能を身に付ける。 ・ 実習全体の流れについてシミュレーションし、また、実習記録の付け方等について学修する。 ・ ICT 機器等を活用した授業のあり方について、演習を通して学習する。 ・ 学生一人一人が指導計画を作成する。作成した計画を基に、教育者・児童等・観察者の三役に分かれて模擬授業（保育）を行い、学生間の意見交換や担当教員による助言を行う。 2. 実習校（園）への事前訪問、オリエンテーション ・ （幼稚園教育実習Ⅱ）8月中旬から下旬、1時間程度 ・ （小学校教育実習Ⅱ）5月中旬から下旬、1時間程度 ・ （特別支援教育実習Ⅱ）4月中旬から下旬、1時間程度 イ 事後指導 ・ 学生による教育実習の振り返りを行い、今後の課題の発見をする。 ・ 実習に参加した全学生とともに報告会を行う。（可能な範囲で、実習校の担当教員等を招いて実施する）。 ・ 学生の自己評価と実習校（園）での総合評価を基に、教員像の確立と今度の計画のため個別面談を行う（個別指導は実習終了後、各1時間程度）。
3 教育実習に関して連絡調整等を行う委員会・協議会等（以下「委員会等」という。）
① 大学内の各学科・専攻等との連絡調整を行う委員会等 ・ 委員会等の名称：①教職・保育支援センター運営委員会 ②教職・保育支援センター ・ 委員会等の構成員：①専任教員7人 事務職員1人 ②専任教員2人 ・ 委員会等の運営方法：①年10回程度開催し、教職課程に関する事項のほか、教育実習、介護等体験及び現場体験学修に関する事項、教職履修カルテの管理に関する事項、採用試験対策の指導等キャリア形成支援に関する事項等を審議する。 ②学生への直接指導及び相談、面接等
【委員会の組織図】 <pre> graph TD A[学長] -.- B[教授会] B <--> C[教職・保育支援センター運営委員会] D[教職・保育支援センター] <--> C E[実習担当教員] -.- D C <--> F[教務委員会] </pre>

(幼稚園)

- ・委員会等の名称：熊本県実習連絡協議会
- ・委員会の構成員：熊本県内の保育者養成校代表１０人
- ・委員会等の運営方法：年１回の全体会を行い、各養成校間で実習期間、人数の調整を行う。

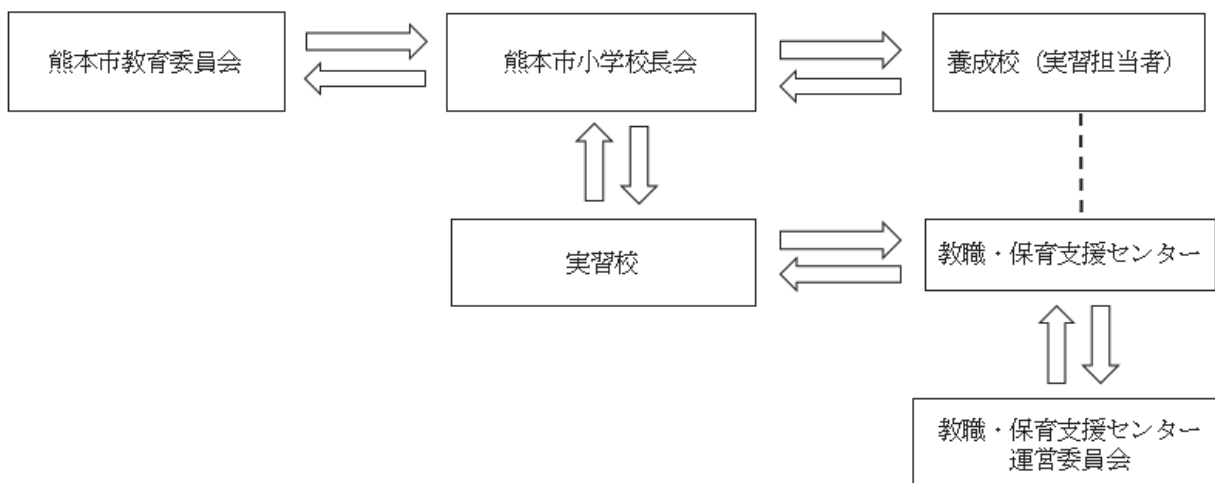
【委員会の組織図】



(小学校)

- ・委員会等の名称：熊本市小学校長会
- ・委員会等の構成員（役職・人数など）：熊本市小学校長 9 2 人
- ・委員会等の運営方法：5 月、1 1 月に、年 2 回開催する
- ・実習校の決定：本学の実習予定者名簿を基に、熊本市教育委員会の指揮の下で熊本市小学校長会が割振りを行う。実習後は、本学と校長会役員との反省会議を開催する。

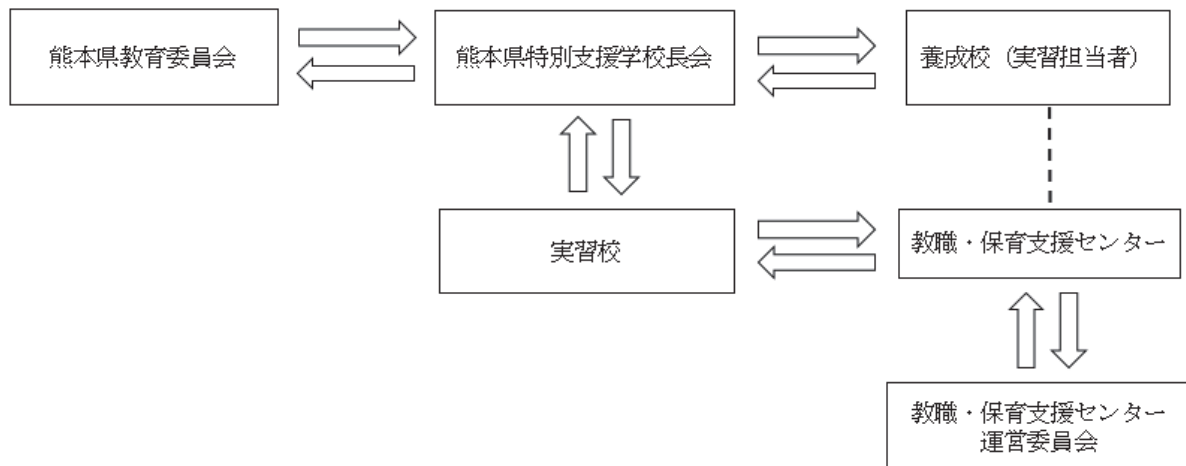
【委員会の組織図】



(特別支援学校)

- ・委員会等の名称：熊本県特別支援学校長会
- ・委員会等の構成員（役職・人数など）：熊本県内の特別支援学校長 24 人
- ・委員会等の運営方法：4 月、2 月に、年 2 回開催する。
- ・実習校の決定：本学の実習予定者名簿を基に、各特別支援学校に依頼し、実習校を決定する。
実習後は、実習校に対してアンケートを実施し、反省を取りまとめ、次年度の指導に生かす。

【委員会の組織図】



4 教育実習の受講資格

(幼稚園) 3 年次開始時点で、それまでに開設される以下に掲げる科目を修得済であること。

- ① 領域及び保育内容の指導法に関する必修科目
- ② 教育の基礎的理解に関する必修科目
- ③ 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する必修科目

(小学校) 3 年次開始時点で、それまでに開講される以下に掲げる必修科目を修得済であること。

- ① 教科及び教科の指導法に関する科目
- ② 教育の基礎的理解に関する科目
- ③ 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目

(特別支援学校) 4 年次開始時点で、それまでに開講される以下に掲げる必修科目を修得済であること。

- ① 基礎免許状にかかる教科及び教科の指導法に関する科目
- ② 基礎免許状にかかる教育の基礎的理解に関する科目
- ③ 基礎免許状にかかる道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目
- ④ 基礎免許状にかかる教育実践に関する科目
- ⑤ 特別支援教育の基礎理論に関する科目
- ⑥ 特別支援教育領域に関する科目
- ⑦ 免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目

5 実習校

教育 実習	体験 活動	学級数 の合計	【幼稚園】 6 学級
○	×	学校名	認定こども園ルーテル学院幼稚園（熊本県熊本市中央区黒髪 3 丁目 1 2 番 1 6 号） 学級数：6 児童数：1 6 4 人
		教員数	2 6 人（内訳）教諭 2 6 人

教育 実習	体験 活動	学級数 の合計	【小学校】 1 6 4 9 学級	
○	×	教育委員会名	熊本市教育委員会	小学校：9 2 校
教育 実習	体験 活動	学級数 の合計	【特別支援学校】 8 7 学級	
○	×	学校名	熊本県立熊本支援学校（熊本県熊本市中央区出水 5－5－1 6） 学級数：3 6 児童生徒数：1 8 6 人	
		教員数	7 7 人 （内訳）教諭 45 人、講師 29 人、養護教諭 2 人、栄養教諭 1 人	
○	×	学校名	熊本県立熊本はばたき高等支援学校（熊本県熊本市東区東町 3－1 4－3） 学級数：2 6 生徒数：2 0 2 人	
		教員数	7 1 人 （内訳）教諭 46 人、講師 23 人、養護教諭 2 人、栄養教諭 0 人	
○	×	学校名	熊本県立熊本かがやきの森支援学校（熊本県熊本市西区横手 5－1 6－2 8） 学級数：2 5 児童生徒数：6 4 人	
		教員数	5 6 人 （内訳）教諭 36 人、講師 17 人、養護教諭 2 人、栄養教諭 1 人	

幼稚園教育実習（総合）評価票

九州ルーテル学院大学

実習生氏名				実習園名			
実習期間	自 至	年	月	日	園長名	印	
		年	月	日	記入者氏名	印	
出欠状況	出勤	病欠	事故欠	遅刻	早退	記入日	
	日	日	日	日	日	年 月 日	

備考：下記の項目について、A～Dのうち該当するものに○をつけて下さい。

A：優れている B：普通 C：努力を要する D：不十分

評価項目	評価の着眼点	評価
実習に対する基本 姿勢・態度	出勤状況は良好であったか	A・B・C・D
	基本的な礼法マナーが身についていたか	A・B・C・D
	意欲的に実習に臨み協調して働くことができたか	A・B・C・D
	勤務態度・身だしなみは良好であったか	A・B・C・D
	記録物の提出期日を守れたか	A・B・C・D
子ども理解と援助	子どもの発達の特質や特徴を理解できたか	A・B・C・D
	子どもに積極的に関わることができたか	A・B・C・D
	個別対応、集団指導などの場面に応じた援助ができたか	A・B・C・D
	すべての子どもに配慮をおこなっていたか	A・B・C・D
	個々の子どもを理解し適切な関わりができたか	A・B・C・D
幼稚園の役割・職 務内容の理解	幼稚園の機能や教諭の役割について理解し、具体的職務に対応できたか	A・B・C・D
	安全面・衛生面における環境設定に配慮できたか	A・B・C・D
	子どもに積極的に関わることができたか	A・B・C・D
	保育技術・教材に対し研究熱心であったか	A・B・C・D
	子どもの実態に沿った指導計画を立案しその指導を体験することができたか	A・B・C・D
	教材、教具を十分に活用できたか	A・B・C・D
	記録・報告の内容は的確であったか	A・B・C・D
総合所見		総合評価
		A・B・C・D

7

九州ルーテル学院大学

人文学部 人文学科						
ふりがな						
学籍番号		氏 名		性別		
評価事項	評価段階	評 価 の 内 容				
勤務状況	／5	出勤、執務の状況、諸会合への参加状況、諸届等の提出、職員・教生相互の協力等、 その他()				
学習指導	／5	教材研究準備、指導案、指導の適切さ、指導の態度、結果の整理等、 その他()				
生徒指導	／5	生活指導、個別指導、助言、(学級会、委員会、クラブ活動、給食、交通安全、掃除、 学校行事)、その他()				
学級経営	／5	幼児児童生徒の把握、環境設営、学級事務の処理、 その他()				
実習報告 (研究報告)	／5	着眼点、資料収集、論旨の深さ 明確さ等、 その他()				
総 合	／25					
実習学校 所 見						
出 勤 状 況	項 目		計	備 考	担当学級	第 学年 組 印
	出勤した日数		日		指導教諭	
	欠 勤 日 数	病 気	日			
		事故他	日			
	遅 刻 回 数		回			
	早 退 回 数		回			
上 記 のとおり相 違 ないことを証 明 する。 年 月 日 学校名 教育実習指導 学校長 職印						

特別支援学校教育実習成績評価票

九州ルーテル学院大学

人文学部 人文学科										
学籍番号				氏 名			性別			
評価事項		評価段階		評 価 の 内 容						
勤務状況		/5		出勤、執務の状況、諸会合への参加状況、諸届等の提出、職員・教生相互の協力等、 その他()						
学習指導		/5		教材研究準備、指導案、指導の適切さ、指導の態度、結果の整理等、 その他()						
生徒指導		/5		生活指導、個別指導、助言、(学級会、委員会、クラブ活動、給食、交通安全、掃除、 学校行事)、その他()						
学級経営		/5		幼児児童生徒の把握、環境設営、学級事務の処理、 その他()						
実習報告 (研究報告)		/5		着眼点、資料収集、論旨の深さ 明確さ等、 その他()						
総 合		/25								
実習学校 所 見										
出 勤 状 況	項 目		計		備 考		担当学級		第 学年 組	
	出勤した日数		日				指導教諭		印	
	欠 勤 日 数	病 気	日							
		事故他	日							
	遅 刻 回 数		回							
	早 退 回 数		回							
上記のとおり相違ないことを証明する。										
年 月 日										
学校名										
教育実習指導										
学校長										
職印										

令和 4年 3月 8日

九州ルーテル学院大学長 様

園名 認定こども園 ルーテル学院幼稚園

園長名 谷 美 和

教育実習の承諾書

九州ルーテル学院大学の教職課程履修学生の教育実習を本校で行うことを承諾します。

令和 4年 3月 14日

九州ルーテル学院大学長 様

教育委員会名 熊本市教育委員会

教育委員長名 遠 藤 洋 路

教育実習の承諾書

九州ルーテル学院大学の教職課程履修学生の教育実習を本機関（小学校）で行うことを承諾します。

令和 4年 3月 18日

九州ルーテル学院大学長 様

学校名 熊本県立熊本支援学校

学校長名 小 野 龍 也

教育実習の承諾書

九州ルーテル学院大学の教職課程履修学生の教育実習を本校で行うことを承諾します。

令和 4年 3月 10日

九州ルーテル学院大学長 様

学校名 熊本県立熊本はばたき高等支援学校

学校長名 坂 本 治 美

教育実習の承諾書

九州ルーテル学院大学の教職課程履修学生の教育実習を本校で行うことを承諾します。

令和 4年 3月 9日

九州ルーテル学院大学長 様

学校名 熊本県立熊本かがやきの森支援学校

学校長名 高 野 寛 美

教育実習の承諾書

九州ルーテル学院大学の教職課程履修学生の教育実習を本校で行うことを承諾します。